

三瓶火山の研究に関わる主な文献のリスト

- 麻原慶憲 (1999) 鉱物と火山ガラスの化学組成からみた第四紀三瓶火山マグマの活動史. 島根大学大学院修士論文, 93p.
- 安藤 武 (1959) 島根県三瓶火山地域温泉および地下水調査, 地調月報, 10, 785-799.
- 第四紀総合研究会編 (1969) 日本の第四系. 地学団体研究会専報, 15, 435p.
- 福岡 孝・松井整司 (1997) 三瓶山南西麓の「切割の露頭」について. 島根県地学会会誌, 12, 205-220.
- FUKUMOTO, T. (1918) Preliminary note the lavas of Volcano Sambe. Jour.Geol.Soc.Japan, 25.
- 服部 仁・鹿野和彦・鈴木隆介・横山勝三・松浦浩久・佐藤博之 (1983) 三瓶山地域の地質. 地域地質研究報告 (5万分の1地質図幅同説明書). 地質調査所, 165p.
- 林 正久・三浦 清 (1986) 三瓶雲南軽石層の鉱物特性と分布の広域性. 島根大学・山陰地域研究 (自然環境), 2, 17-26.
- 林 正久・三浦 清 (1987) 三瓶火山のテフラの層序とその分布. 島根大学・山陰地域研究 (自然環境), 3, 43-66.
- 井上多津男 (1966MS) 三瓶火山の層位と岩石について. 島根大学文理学部卒業論文.
- 加藤茂弘・壇原 徹・山下 透・竹村恵二・岡田篤正 (1996) 兵庫県神戸市で発見された三瓶火山起原のテフラ. 第四紀研究, 35, 383-389.
- 木村純一・岡田昭明・中山勝博・梅田浩司・草野高志・麻原慶憲・館野満美子・壇原 徹 (1999) 大山および三瓶火山起原テフラのフィッシュントラック年代とその火山活動史における意義. 第四紀研究, 38, 145-155.
- 小林貞一 (1950) 日本地方地質誌) 中国地方. 朝倉書店, 271p.
- 小室裕明・志知龍一・和田浩之・糸井理樹 (1996) 重力異常からみた三瓶カルデラの基盤形態. 火山, 41, 1-10.
- KOZU, S. and YOSHIKI, B. (1929) Thermo-optic studies anomite-basaltic hornblende-quartz andesite in association with biotite-common hornblende-quartz andesite, which together from the Volcano Sambe in Japan. Sci. rep. Tohoku Imp. Univ., ser. 3, vol.3.
- 久野 久 (1954) 火山及び火山岩, 岩波全書, 東京, 255p.
- 草野高志・中山勝博 (1999) ブロックアンドアッシュフローの堆積過程 (予察) 島根県三瓶火山の太平山火砕物の例. 火山, 44, 143-156.
- 町田 洋・新井房夫 (1992) 火山灰アトラス [日本列島とその周辺]. 東京大学出版会, 276p.
- 松井整司 (1994) 三瓶多根火砕流の¹⁴C年代. 島根県地学会会誌, 9, 26.
- 松井整司 (1998) 三瓶火山の噴出物とその年代. 志津見ダム建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書5「板屋Ⅲ遺跡」(付編). 建設省中国地方建設局・島根県教育委員会, 127-136.
- 松井整司 (1999) 縄文の森「三瓶小豆原埋没林」. 日本地質学会News, 2-3.
- 松井整司・井上多津男 (1970) 三瓶火山噴出物の¹⁴C年代. 地球科学, 24, 112-114.
- 松井整司・井上多津男 (1971) 三瓶火山の噴出物と層序. 地球科学, 25, 147-163.
- 松井整司・福岡 孝 (1996 a) 三瓶火山の浮布黒色土以後の火砕物の層序 (その1). 島根県地学会会誌, 11, 41-47.
- 松井整司・福岡 孝 (1996b) 三瓶火山の浮布黒色土以後の火砕物の層序とその年代. 島根大学地球資源環境学教室研究報告, 15, 61-62.

- 松元拓朗 (1994) 三瓶火山円頂丘溶岩の化学組成. 地質学雑誌, 100, 639-641.
- 三浦 清・林 正久 (1987) 火山活動史から見た三瓶火山の鉱物特性, 島根大学・山陰地域研究 (自然環境), 3, 67-94.
- 中村唯史 (1998) 頓原町板屋Ⅲ遺跡のアカホヤ火山灰降灰層準. 志津見ダム建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書5「板屋Ⅲ遺跡」(付編), 建設省中国地方建設局・島根県教育委員会, 137-141.
- 中山勝博・山内靖喜・沢田順弘・松井整司 (1996) 島根県大田市三瓶山南西麓の大平山テフラ. 第四紀露頭集, 281.
- 野村亮太郎・田中眞吾 (1987) 兵庫県南部のU2火山灰層—その対比と地形編年上の意義—. 神戸大学教養部紀要, 39, 1-20.
- Nuibe, Y. (1997) Origine of the andesitic to rhyolitic magmas of Sambe Volcano, Southwest Japan. 東北大学大学院修士論文, 114p.
- 大久保雅弘 (1979) ★島根の地質研究史 (その1). 山陰文化研究紀要, 19, 89-104.
- 大久保雅弘 (1983) ★島根の地質研究史 (その2). 山陰文化研究紀要, 23, 23-35.
- 小幡 浩 (1964) 三瓶山の自然環境. 島根大学山陰文化研究所, 三瓶総合調査報告書Ⅱ, 47-54.
- 小幡 浩 (1967) 三瓶山の地形と火山灰編年について. 地理評, 40, 553-563.
- 三瓶団研グループ (1964) 三瓶火山の団体研究について. 島根地学会, 4, 1-4.
- 佐藤浩一・町田 洋 (1996) 愛鷹山麓の「含雲母グリース状火山灰」の給源, 三瓶山. 日本第四紀学会講演要旨集26, 88-89.
- 沢田順弘・福江美智子・兵頭政幸 (1999) 後期第四紀三瓶火山の古地磁気学, 溶岩ドームの年代, 構造, 火砕堆積物の定置温度見積り, 及び自己反転磁性鉱物の発見. 地球惑星科学関連学会1999年合同大会講演要旨.
- 園山市太郎 (1936) 島根県における岩石地質学的著例の摘要とその考察. 地球, 25, 376-388, 452-459, 26, 26-33.
- 鈴木隆介・横山勝三・高橋健一 (1968) 三瓶火山の活動史と地形 (演旨). 地理学評論, 41, 386-387.
- 田原敬次・川北忠徳・松井整司 (1986) 三瓶火山の噴出物と活動史. 島根県高等学校教育研究連合会研究紀要, 4, 79-86.
- 種子田定勝 (1944) 三瓶火山の地質並びに岩石に就いて (略報). 岩鉱, 32, 182-203.
- TANEDA, S (1952) Petrographic Notes on the Volcanic Rocks from Sambe, Southwestern Japan. Jap. Jour. Geol. Geogr., (地輯報), 22, 1-26.
- 山上万次郎 (1897) 20万分の1地質図幅三瓶山同説明書. 140p.
- 山口鎌次 (1955) 三瓶火山の地質 (演旨). 地質学雑誌, 61, 340-341.
- 山口鎌次 (1956) 三瓶火山の所謂赤色溶岩について (演旨). 地質学雑誌, 62, 373.
- 山口鎌次 (1963) 三瓶火山の地質—特に頭上部のTholoideの地質構造と形態について (演旨). 地質学雑誌, 69, 325.

註) ★は直接三瓶火山活動に関係しないが, 本文中で研究史の記述に引用したもの。